

幸せ実感北杜チャレンジプランの考え方

1. プラン策定のねらい

『幸せ実感北杜チャレンジプラン』は、第3次北杜市総合計画（以下「第3次総合計画」という。）の基本構想で示す「2030年、地域のありたい姿」を実現するため、市政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画である「第3次総合計画」とその実行を下支えするための行政改革の基本方針となる計画（行政の体質改善の最上位計画）である「新・行政改革大綱」の2つの重要計画をパッケージ化した（一つにまとめた）ものです。

第3次総合計画の前期基本計画には、「2030年、地域のありたい姿」の実現に向けて、先導的な役割を担うリーディングプロジェクトを設定し、地方創生と人口減対策に対して大きな役割を担う施策を優先的かつ重点的に取り組みます。

一方、本市では人口減少・高齢化が進行しており、財政面の制約も増している状況があります。まちづくりのビジョンを描くだけ（総合計画を策定するだけ）では、課題解決や満足度を高めていくことは難しく、強固な行財政基盤の裏付けを持たない施策展開には限界があります。すなわち、行財政とまちづくりが有機的に機能してはじめて、まちづくりのビジョンの実効性が高まると言えます。

そのため、「第3次総合計画」と「新・行政改革大綱」の2つの計画を同時に達成させることが重要であり、その2つの重要計画の目指す方向性の整合を図り、行政経営の視点を強化した「成果」と「市民満足度の向上」に重点を置いた効果的な施策展開を進めます。

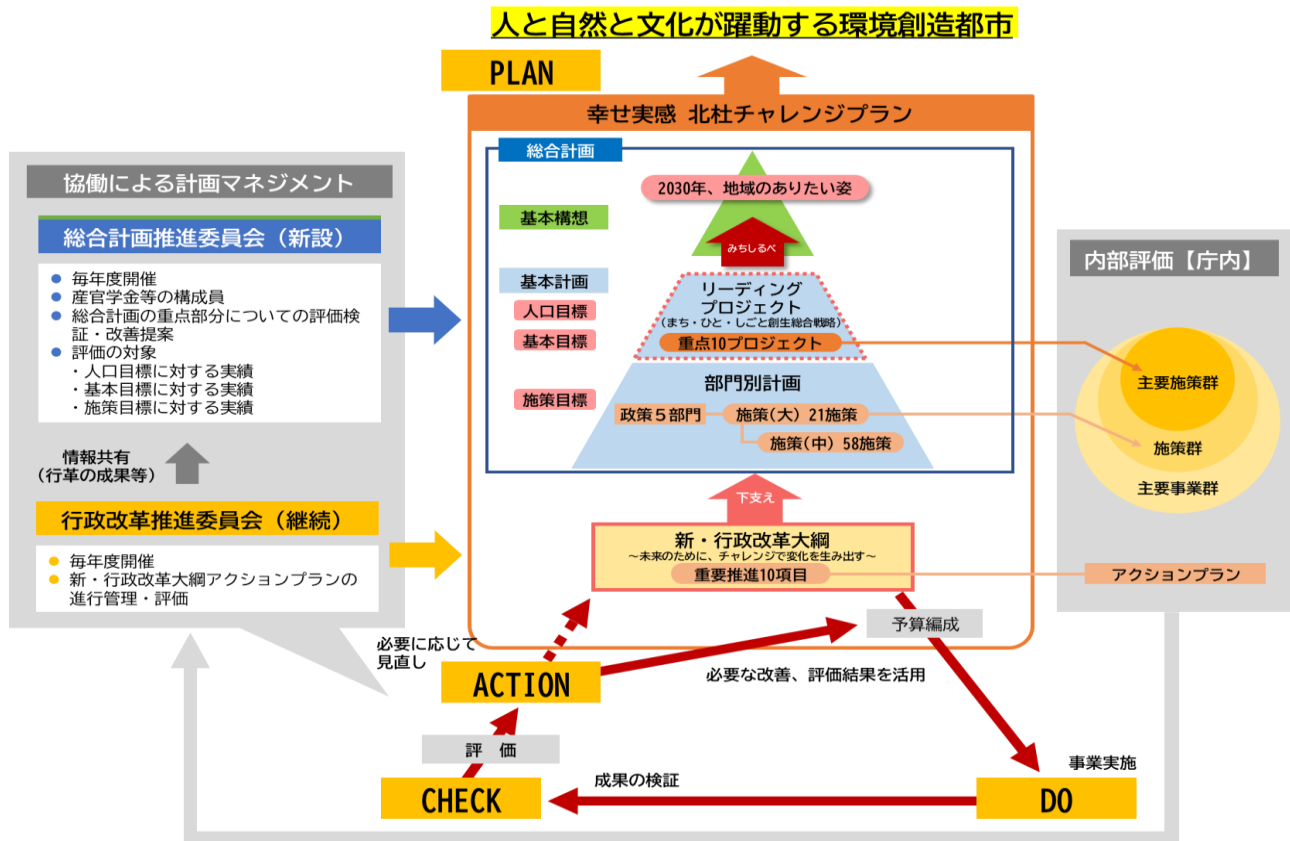
取組にあたっては、既存の取組の整理・合理化によって経営資源（ヒト・モノ・カネ）を捻出するとともに、全方位的に注力するのではなく、重点化と縮減のメリハリをつけた行政を運営することが求められています。

第3次総合計画では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合したことにより、記載内容の重複解消や全体の構成の簡素化などが図られ、より明確で効率的・効果的な推進に加えて、進捗管理の効率化も図ることができ、コスト抑制にも寄与しています。

また、「総合計画」と「行政改革大綱」をパッケージ化することで、計画のスリム化が図られるとともに、一体的に管理することで、統制力及び実効性を高めることが期待されます。

本プランがまちづくりの「みちしるべ」となり、行政はもとより、市民・企業・団体・北杜ファンなどの多様な主体が、共通の目標に向かって、知恵を出し、汗をかき、連携し、努力を続ける、魅力的なまちの実現を目指してまいります。

2. プランの構成（位置付け）、推進体制



3. プラン推進スケジュール

